



# 社会人基礎力協議会News

第19号 2025年7月29日発行

## 1 一般社団法人 社会人基礎力協議会 2025年度活動方針

協議会事務局

2024年の合計特殊出生率が1.15となり、前年度よりさらに低下、出生数も70万人を切り、過去最低との報道がなされました。少子高齢化はとどまるところを知らず、2040年には高齢化率が35%に達すると予測されています。世界でも経験したことのない超高齢社会を日本は迎えようとしています。

人生100年時代において、ひとつのキャリアで一生を終えるのではなく、複数のキャリアを同時に築く、キャリアチェンジをしながら年齢を経る、という生き方も珍しくなっています。今年度の年次大会のテーマは、「枠を越えて育成する社会人基礎力」です。組織や役割の枠を超えて活動する、副業や兼業をしながらキャリアを積む、そんな経験は、変化の激しいVUCAの時代を生き抜くための視点やスキルを提供してくれるでしょう。

年齢を経てもなお、社会につながりながら活き活きと生きる、そんな社会人基礎力を身につけたシニア世代が活躍する日本社会は、世界で進む超高齢社会のロールモデルとなるのではないかでしょうか。そんな社会を目指して、2025年度も本協議会は、活動してまいります。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(代表理事 長尾素子)

理事会メンバー役割・所属	氏名
代表理事 拓殖大学	長尾 素子
理事・事務局長 国家資格キャリアコンサルタント	別所 俊彦
理事・グランプリ委員会委員長 公立諏訪東京理科大学	市川 純章
理事・グランプリ委員会 副委員長 東京家政学院大学	金森 敏
理事・研究委員会 委員長 城西大学	栗田のみ子
理事・研究委員会 副委員長 成蹊大学	山崎 紅
理事・リカレント委員会 委員長・副事務局長 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン（株）	渡邊 明男
理事・副事務局長SMBCコンシューマーファイナンス（株）	三瓶 剛史
理事 拓殖大学 就職キャリアセンター	来田 健
理事・事務局 一般社団法人全日本中小企業連盟	三角 武一郎
理事・事務局 公認会計士・税理士	清松 敏雄
理事 北海道情報大学 経営情報学部	福沢 康弘
理事 一般社団法人全日本コンディショニングコーチ協会	森部 昌広
理事・事務局 名古屋大学 博士課程教育推進機構	寺澤 ますみ
理事・★広報担当 福山大学 大学教育センター	前田 吉広
監事 拓殖大学 商学部	稻葉 知恵子

(★マークが理事会新役割)

## 2 2025年度グランプリ委員会事業計画

グランプリ委員会

グランプリ委員会の事業は主に3つ、①社会人基礎力育成グランプリの企画・運営、②グランプリの参加拡大のための事業、③年次大会でグランプリに関するパネルディスカッションの実施です。社会人基礎力育成グランプリは2007年度に始まり、今年度大会で19回目となります。大会の開催を通して、社会人基礎力の著しい成長を遂げた学生らを表彰するとともに、各大学での社会人基礎力育成への取り組みに関する情報発信に努めます。当委員会のメンバーは各地区大会の実行委員長から構成され、予選大会の運営を担当します。本年は下記の通り、2月に地区予選大会の実施、3月に全国大会の実施をします。委員会では、グランプリの審査方法、審査項目などの見直しを通して、社会人基礎力育成手法の向上を目指します。

### グランプリ委員会 主な事業計画とスケジュール（当協議会HPもご参照ください）

2025年度「社会人基礎力育成グランプリ」を行います。全国大会はオンライン開催または対面にて調整中（当協議会からの最新情報をチェックください）、予選大会は、中国・四国地区が対面（松山大学・愛媛県）、その他の地区はオンライン開催です。

<スケジュール>

2025年6月	社会人基礎力育成グランプリ 応募要項公開
2025年11月	地区予選出場校募集受付開始（2025年11月1日～2026年1月9日）
2026年2月	各地区予選大会開催（北海道地区2月11日、東北・関東地区2月16日、中部地区2月15日、近畿地区2月8日、中国・四国地区2月22日、九州・沖縄地区2月23日）
2026年3月	全国大会開催（3月12日）

(委員長 市川純章)

### グランプリ委員会 各地区運営体制（敬称略）

GP北海道地区 実行委員長	北海道情報大学 経営情報学部 福沢康弘
GP東北・関東地区 実行委員長	東京家政学院大学 現代生活学部 金森 敏
GP中部地区 実行委員長	名古屋産業大学 現代ビジネス学部 今永典秀
GP近畿地区 実行委員長	京都芸術大学 芸術学部 吉田大作
GP中国・四国地区 実行委員長	松山大学 経済学部 松本直樹
GP九州・沖縄地区 実行委員長	一般社団法人全日本コンディショニングコーチ協会 森部昌広



### 社会人基礎力をテーマとした研究活動の促進を目指して

研究委員会では、年次大会での研究委員会セッションに加えて、今年度も研究会（2回程度）を計画しております。年次大会でのセッションでは、2024年度の研究会の成果をもとに、社会人基礎力をテーマとした研究の可能性について、皆様と議論する機会を予定しています。

研究会では、社会人基礎力をどのように研究するのか、“研究”的視点から、改めて、社会人基礎力を活用する意義などについて、皆様と議論を深める機会となるよう、テーマの選定等を進めております。第1回の参加者募集を行なっておりますので、是非ご参加をご検討ください（下記URL/QRコードから協議会HP参照）。

また、研究活動を促進することを目的に、2020年度から発行している機関誌『社会人基礎力研究』のアーカイブ公開の準備を進めております。今年度も、研究の視点から社会人基礎力の普及促進、利活用などを支援できるよう、研究委員会としても事業を展開して行きたいと考えております。

### 主な事業計画とスケジュール（予定）

2025年7月	ニュースレター第19号発行 (2025年度 当協議会方針説明他)
2025年8月	年次大会での研究委員会 セッション 日本における社会人基礎力を取り巻く研究動向と 活用可能性
2025年8月	2025年度 第1回学修交流研究会 <a href="https://biz100.org/archives/6463">https://biz100.org/archives/6463</a>
2025年11月	ニュースレター第20号発行 (2025年度 年次大会レポートなど)
2025年12月	2025年度 第2回学修交流研究会（予定） ※後日、詳細はHPにてご案内いたします。
2026年3月	ニュースレター第21号発行 (社会人基礎力育成グランプリ大会報告他) 機関誌『社会人基礎力研究』第7号発行 (委員 黒田友貴)



2024年度研究会の様子（2025年度も2回の対面形式での研究会の開催を計画しています）

#### 第1回学修交流研究会

2025年8月11日（月・祝）  
15:00-17:00



詳細は左記の  
QRコードから  
協議会HP参照  
参加者募集中！



ニュースレターは今号で第19号  
2019年第1号発行以来  
7年目に入りました。

## 4 | 2025年度 リカレント委員会事業計画

### 「兼業・副業」の時代の現在

令和7年6月13日、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂版」が閣議決定されました。そこには、人への投資・多様な人材の活躍推進の施策として、「○三位一体の労働市場改革（リ・スキリング、ジョブ型人事、労働移動円滑化）に加速して取り組むとともに、副業・兼業の推進や同一労働同一賃金制の施行徹底も含め、多様な人材の活躍推進を進める。」と記載されています。リカレント委員会としては、この労働移動の円滑化、副業・兼業の推進に注目して、「前に踏む出す力」の実践活動として、組織の枠を越えた活動を重点テーマにしています。

### 制度化されても進まぬ副業・兼業の状況

人的資本経営に関する諸課題の動向として、副業・兼業については、厚生労働省も「副業・兼業の促進に関するガイドライン」を制定し、さらに、そのパンフレットを令和7年3月31日に改訂し強く推進しています。

しかし、経産省の人的資本経営コンソーシアムの参加企業の調査結果では、従業員に副業・兼業を認めたことによる効果としては、「スキル向上や能力開発」「モチベーションやエンゲージメントの向上」が多いとなっているものの、副業・兼業を実施する従業員の割合が全従業員における副業・兼業の実施率が5%未満の企業が大半を占める、と報告されています。

人的資本経営のリーディング企業においても、まだまだ従業員の副業・兼業は進んでいないので、当委員会では好事例を紹介して、企業/個人共に、組織の枠を越えて「前に踏む出す力」の実践を支援して参ります。

### 主な事業計画とスケジュール（予定）

リカレント委員会は、偶数月（4、6、8、10、12、2）開催のフォーラム（講演とディスカッション）を6回開催します。  
そのうち8月は年次大会の中で事例紹介します。2025年度のこれまでの開催実績と今後の計画は以下のとおりです。

（偶数月の第3or4週土曜日10時～12時を予定）

4月26日（土）	株式会社ローンディール 大川陽介 氏
6月21日（土）	宮城大学 キャリア・インターシップセンター長 渋田 一夫 氏
8月22日（金）	2025年次大会「枠を越えて育成する社会人基礎力」
10月25日（土）	※詳細は決定次第協議会HPよりご案内します。
12月20日（土）	※詳細は決定次第協議会HPよりご案内します。
2月21日（土）	※詳細は決定次第協議会HPよりご案内します。

各回ともに、協議会からのテーマに沿った情報展開と、有識者の講演、企業の事例紹介、教育/研修事業のご紹介などを検討しています。4月と6月の実績は、本ニュースレター最終ページにて詳細をレポートしていますのでご覧ください。（委員長 渡邊明男）

## 5 【実践レポート】教員4年目の節目に「社会人基礎力」を見つめ直す

協議会事務局

### 仙台市教育センター「高等学校等フレッシュ先生4年次研修」実施

2025年5月23日、仙台市教育センターにて「令和7年度 高等学校等フレッシュ先生4年次研修」が開催されました。本研修は、初任者研修の最終年度に位置づけられたもので、対象は仙台市立高等学校等に勤務する4年目の教諭11名。「教員である前に、一社会人として自身の現在地を見つめ、これからの方針性を考えることを目的に、社会人基礎力をテーマとした講義と演習が行われました。

### 「人生100年時代を生き抜く社会人基礎力」について講演

冒頭では、長尾素子代表理事（拓殖大学）が「人生100年時代を生き抜く社会人基礎力」をテーマに講義を行いました。ChatGPTをはじめとした生成AIの進化により、知識の伝達に加えて「人としての力」、すなわち社会人基礎力の必要性がますます高まっているという問題提起から始まり、社会人基礎力の実践的な活用方法についてケーススタディを交えて紹介しました。年齢や立場に関係なく、誰にでも必要不可欠な「社会人基礎力」の意味を改めて認識する機会となりました。

### カード型教材「みらいミッション」を使用したグループワーク実施

前田吉広理事（福山大学）による演習では、独自に開発したカード型教材「みらいミッション」を使用したグループワークが展開されました。演習では、実際の教育現場で起こりうるリアルなケースをもとに、社会人基礎力の12要素を切り口に課題を分析し、解決策を多角的に導き出す力を育みました。受講者からは「12の視点で問題を見直すことで、思いもよらない対策が見えた」「自身に足りない能力が何かを自覚するよい機会になった」「実際の学校でも活用したい」との声が多く寄せられ、教材の実用性と研修の実践的意義が高く評価されました。

### 学生だけでなく教員自身の成長にもつながる学び

この日は特別ゲストとして、6月に開催されたリカレント委員会オンラインセミナーにもご登壇された、宮城大学教授・キャリア・インターナーシップセンター長の渋田一夫先生にもご同席いただき、参加者の学びに深みを加えてくださいました。今回の研修を通じて、社会人基礎力は学生や若者だけでなく、教員自身の成長や職場での連携、生徒指導や保護者とのコミュニケーションの質向上にもつながる“生涯にわたり求められる力”であることが改めて確認されました。今後も実践的な研修の提供を通じて、社会人基礎力の意義を広めていくことが期待されます。



長尾素子代表理事による講演の様子



前田吉広理事によるグループワークの様子



カード型研修教材「みらいミッション」は、誰でも無料でご利用いただくことが可能です。興味のある方は、右側QRコードから公式ホームページをご覧ください。

## 6 2025年度 社会人基礎力協議会主催 年次大会オンライン開催します

協議会事務局

社会人基礎力協議会では、社会人基礎力に関する産官学の対話の場として年次大会を開催しています。昨年は「AI時代を生き抜くための社会人基礎力」をテーマに多くの方々のご参加をいただきました。産業界、教育界、関連省庁など、様々なお立場の皆様のご参加を心よりお待ちしております。本年度も、さらなる活発な対話、気づきの場として年次大会を開催いたします。

### 開催概要

テーマ：「枠を越えて育成する社会人基礎力」

2025年度は、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素の中から、特に前に踏み出す力に重点を置き、「枠を越えて育成する社会人基礎力」をテーマに掲げました。越境学習や兼業・副業といった、組織や役割の枠を越える活動を通じて、社会で通用する力が培われると私たちは考えております。人生100年時代において、長く活躍し続けるための「社会で通用する力（ポータブルスキル）」とは何か、いま改めてそれを問い合わせてきています。本大会を、登壇者と参加者が対話を通じてその本質と共に考える機会としたいと思います。

開催日時：2025年8月22日（金）15:00-18:30（WebEXによるオンラインイベント）

参加者には、8月15日（金）以降にオンライン会議情報をお知らせします。

受付開始：7月1日（火）より受付中 <https://forms.gle/ejNpDo74LCHcbTPL7>

問合せ先：大会実行委員長 渡邊明男（リカレント委員長・副事務局長） [jimukyoku@biz100.org](mailto:jimukyoku@biz100.org)



### 2025年度 年次大会ご登壇予定者（講演テーマなど詳細は上記HP/QRコードから参照ください）

15:00 基調講演 石川県 副知事 浅野大介様 「越境キャリア：組織の枠を超えて働くということ」

15:30 第1部 リカレント委員会

企業講演 株式会社morich 代表取締役 森本千賀子様、株式会社ニフコ エグゼクティブエキスパート 根津幹夫様

16:30 第2部 研究委員会

講演・ディスカッション 研究委員会 黒田友貴委員、社会人基礎力協議会 前田吉広理事

17:30 第3部 グランプリ委員会

福岡大学経済学部 岡祐輔先生、学生2名様（2024年度全国グランプリ大会 審査員特別賞/協賛企業団体賞）

詳細情報および  
参加申込は[こちら](#)  
(協議会HP)

## 4月フォーラム

2025年4月26日（土）10:00～12:00（Webexによるオンライン開催）

テーマ：「ハミダシのススメ～越境×WILLで鍛える社会人基礎力～」

講師：株式会社ローンディール 最高顧客責任者 WILL-ACTION Lab. 所長  
大川陽介氏



実施報告書は  
こちらを参照ください  
(協議会HP)

## プログラム

1. 講演 「ハミダシのススメ～越境×WILLで鍛える社会人基礎力～」

2. ブレイクアウトセッション：グループに分かれて意見交換

## 主なご講演内容

社会人基礎力の向上には、自身の「WILL（意志）」を言語化し、それに基づく「WILL-ACTION（意志ある行動）」を習慣化することが重要である。個人のWILLを明確にし、それを組織のMUSTと結びつけることで、自律的な成長が促される。また、越境的な経験が成長を加速するきっかけとなる。「WILL」は人生の羅針盤であり、行動や意思決定の原点となる。組織のCAN（できること）を経由してWILLとMUSTを連携させることで、行動の壁や習慣化の壁を乗り越え、仕事も人生も楽しく前進できる。「自律支援」は社員の幸せを生み出し、施策の成功には推進者自身が最もワクワクしていることが鍵となる。

## 6月フォーラム

2025年6月21日（土）10:00～12:00（Webexによるオンライン開催）

テーマ：「偶然を味方にするキャリア形成」

講師：宮城大学 キャリア・インターンシップセンター長 渋田一夫 氏



実施報告書は  
こちらを参照ください  
(協議会HP)

## プログラム

1. 講演 「偶然を味方にするキャリア形成」

2. ブレイクアウトセッション：グループに分かれて意見交換

## 主なご講演内容

自身のキャリアはほとんどが偶然から生まれたものである。後になって振り返ると自分が気が付かなかっただけで、そのひとつひとつに意味があり自らがその道に結びつく行動をとっていたのかもしれない。幸運な偶然（セレンディピティ）を生むための行動は、①多様な価値観の人とのつながりを持つこと、②行動量を増やすこと、③好奇心を常に持ち、積極的な姿勢でいること、④チャレンジ精神を持つこと、と考える。今後も自身のキャリアを成長させる新たな偶然を取り込むべく行動していく。

（リカレント委員会 波止由美）

## 8 一般会員・学生会員・賛助会員 隨時募集中

協議会事務局

一般社団法人社会人基礎力協議会では、一般会員・学生会員（個人）、賛助会員（企業・団体）を随時募集中です。

協議会活動に賛同いただける皆様のご応募をお待ちしております。詳しくは協議会HPをご参照ください。

種別	対象・会費	特典
一般会員	個人 年会費 1万円	機関誌・ニュースレターなど各種情報をお送りしたり、協議会イベントへの参加資格が得られたり、機関誌への投稿資格が得られるなど。詳細はHP参照
学生会員	学生 年会費 免除（在籍期間内）	
賛助会員A	法人・団体 年会費 20口以上（1口1万円）	上記特典に加えて、A・B・Cの種別によって、協議会HPへのバナー掲載、協議会イベントでのご講演や事例発表資格が得られるなど。詳細はHP参照
賛助会員B	法人・団体 年会費 10口以上20口未満（同）	
賛助会員C	法人・団体 年会費 1口以上10口未満（同）	



会員規則  
(入会案内)

## 編集後記



2025年度も、来年2～3月のグランプリ大会に向けて活動が進んでいます。関係者各位におかれましては、社会人基礎力育成につながる授業やご活動をされている大学・学部等がありましたら、ぜひお声がけいただけたら幸いです。多くのチームのご参加により、さらなる研鑽の場にできたらと思います。また、年次大会や各委員会が行うイベントも協議会HPからご案内していますが、大学関係者に限らず、広くご参加を募集しています。主にオンラインですのでお気軽にご参加ください。このNewsでは大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていくために、会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。左記QRコードの協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしくお願ひ申し上げます。  
(担当：研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅)